

## 事業概略書

事業名	<p>フランチャイズシステムビジネス(FC)を障害者就労事業に導入するための研究事業(継続研究)</p> <p>*今年度より「フランチャイズシステムビジネス(FC)を障害者就労事業に導入し就労支援スキル強化と就労移行支援スキルアップを目指す研究事業」</p>
事業目的	<p>・福祉発と民間発の障害者就労実績ある収益事業についてFC化の道を探り、就労支援事業所の事業成功率と工賃を高める基盤づくりを目指す。</p> <p>・就労継続支援B型事業所を対象に、事業ノウハウの現状及びその獲得に向けての意識・意欲調査を実施して民間加盟店成功要件とすりあわせ、今後、就労支援事業所がFC加盟成功のために備えるべき要件を明らかにする。</p> <p>・FC加盟店業務実習が就労支援職員の就労支援能力及び移行支援能力向上に役立つ可能性について研究する。</p>
事業概要	<p>① 福祉発「がんばカンパニー菓子事業」「手づくりとうふ工房」民間発「リフォーム三光サービスFC」「ダスキンサービス・マスター事業」について障害者就労支援事業所向けにFC導入研究を行った。</p> <p>② 近畿2府4県の全就労継続支援B型事業所について、事業ノウハウ獲得に関する考え方と意識状況把握の調査アンケート分析を行い、必要となる仕組みや方策・制度について研究・検討した。</p> <p>③ 民間FC企業で長期の職員実習を行い、それが「就労支援と移行支援能力向上」及び「企業との“壁(交流不足・情報不足)“解消」に有効であることを研究した。</p>
事業実施結果及び効果	<p>上記4事業のFCパッケージの充実とともに、既加盟店の事業収益に寄与する事例も徐々に増加中である。</p> <p>また民間FC加盟店の社員と同じレベルで行う「職員長期実習」が、移行支援力や就労支援力の向上に役立ち、また“福祉と企業の間壁”解消の決め手になることが明らかになった。</p> <p>FC加盟により、①職員意識が変わる ②事業スキルが格段に得られる ③収益力向上の可能性が高まる ④福祉と民間の間に存在する意識の“壁”が消滅する、などの効果が見込める。</p>
事業主体	<p>〒525-0032</p> <p>滋賀県草津市大路2丁目11-15</p> <p>社団法人 滋賀県社会就労事業振興センター</p> <p>TEL:077-566-8266 E-MAIL:selp1@hukusi-shiga.net</p>